

大林道路の
福本社長

常に緊張感を持続

大林道路の福本勝司社長は6日、年末年始労働災害防止強調月間の一環として、関東支店管内の千葉県内で進めているICT舗装適用の舗装現場と下水の再構築現場で安全パトロールを実施した。写真。

福本社長は「作業員の意識には、『自分だけは大丈夫』という感覚もある。しかし、都市

土木では現場内の作業だけでなく現場周辺の環境に起因す



る危険要因が多く存在し、作業員に緊張感を持って安全意識を高め、『つっかき』が大きな事故を引き起こすことになる。』と述べた。

常に緊張感を持って安全意識を持続させることが特に必要だ」と述べた。

